

ことわざ

① 次の意味のことわざを、後のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ① 住み慣れれば、住み心地がよくなるものである。
- ② 急ぐときは、危険な近道よりも、遠回りでも安全な道を選ぶほうがよい。
- ③ 何かをすれば、思いがけない災難にあう。また、何かをやってみれば、思いがけない幸運にあう。
- ④ つらくてもがまん強くしんぼうすれば、成功する。

ア 急がば回れ
ウ 石の上にも三年

イ 犬も歩けば棒に当たる
エ 住めば都

- ①
- ②
- ③
- ④

敬語

② 次の表現を、へ への指示に従って、敬語を使った表現に直しなさい。

① これは、ぼくの本だ。
← へていねい語を使った表現

② 校長先生が、来ました。
← へ尊敬語を使った表現

③ 明日、行きます。
← へけんじよう語を使った表現

熟語の構成

③ 次の漢字の組み合わせに当てはまる熟語を、後のア～カから選び、記号で答えなさい。

① 似た意味をもつ漢字の組み合わせ

② 反対の意味をもつ漢字の組み合わせ

③ 上の漢字が下の漢字を修飾する関係にある組み合わせ

ア	新年	イ	南北	ウ	苦楽
エ	河川	オ	良好	カ	親友

漢字チャレンジコーナー

①～④は——線部の読み方を平仮名で、⑤～⑧は——線部の漢字を楷書で書きましょう。
(⑤～⑧は送り仮名が必要な場合もあります。)

① 額にあせをかく。

② 仲間を率にいる。

いる

③ 車窓からながめる。

④ 誠実にな人から。

⑤ 知人をたずねる。

⑥ 不足をおぎなう。

⑦ 家にしようたいする。

⑧ 会社につとめる。

--	--	--	--	--	--	--	--

漢字の部首

① 次の漢字の部首の名前を、後のア～オから選び、記号で答えなさい。

① 説

② 庫

③ 節

④ 関

ア たけかんむり
エ しんによう

イ ごんべん
オ まだれ

ウ もんがまえ

文法―文節分け

② 次の文を分節に分け、その区切りに「／」を書きなさい。

① ぼくは学校へ行く。

② 桃太郎は猿とキジと犬と一緒に鬼ヶ島へ鬼退治に行きました。

文法―単語分け

三 次の文を単語に分け、その区切りに「/」を書きなさい。

① わたしの将来の夢は、デザイナーになることです。

② 浦島太郎は、助けた亀に連れられて、竜宮城へ行きました。

漢字チャレンジコーナー

①～④は――線部の読み方を平仮名で、⑤～⑧は――線部の漢字を楷書で書きましょう。

(⑤～⑧は送り仮名が必要な場合もあります。)

① うまく工夫する。

② 優しい人。

③ 危うく転びかけた。

④ 生野菜が傷む。

⑤ 大気がおせんされる。

⑥ 客をでむかえる。

⑦ あざやかな色。

⑧ 絵をえがく。

				む	うく	しい	

接続する語句

① 次の□に当てはまる接続する語句を、後のア～オから選び、記号で答えなさい。

- ① 来週は試験だ。□、今週は頑張って勉強しておこう。
- ② 飲み物はコーヒー、□、紅茶からお選びください。
- ③ 人気商品を買に行つた。□、残念ながら売り切れだった。
- ④ わたしは毎日野菜を食べる。□、健康にいいからだ。

- | | | | | | |
|---|-----|---|------|---|-----|
| ア | しかし | イ | すなわち | ウ | だから |
| エ | または | オ | なぜなら | | |

指示する語句

② 次の——線部の、指示する語句が指し示す内容に、……線を引きなさい。

- ① 父が説教を始めた。それは、ぼくにとっては耳の痛い話だった。
- ② 山口さん、大竹さん、香川さん、以上がクラス代表の選手に選ばれました。
- ③ 彼はこう宣言した。「次のテストで必ず百点をとる。」

古文—歴史的仮名遣い

三 次の歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直し、すべて平仮名で書きなさい。

① ゐる

② よそほひ

③ いふ

④ よろづ

⑤ まうづ

⑥ なむ

漢字チャレンジコーナー

①～④は——線部の読み方を平仮名で、⑤～⑧は——線部の漢字を楷書で書きましょう。
(⑤～⑧は送り仮名が必要な場合もあります。)

① 町内の集いに出る。

い

② 食物が乏しい。

しい

③ 速やかに報告する。

やか

④ 社会に貢献する。

⑤ 靴をはく。

⑥ 庭のそうじをする。

⑦ 敵にはんげきする。

⑧ 長いきゆうかをとる。

故事成語

① 次の故事成語の読み方を平仮名で書き、その意味として当てはまるものを、後のア〜ウから選び、記号で答えなさい。

① 矛盾 読み ↓ 意味

② 推敲 読み ↓ 意味

③ 蛇足 読み ↓ 意味

ア unnecessary なること。
イ 話のつじつまが合わないこと。
ウ 文章や詩の表現を何度も練り直すこと。

文法―主語と述語

② 次の文の主語に――線、述語に――線をそれぞれ引きなさい。

① 父が会社へ行く。

② 小学生さえ完走した。

③ その歌は、わたしも好きだ。

さまざまな表現技法

一 次の文で使われている表現技法を、後のア～カから選び、記号で答えなさい。

① 今のこの時間を大切にしよう、後悔はしたくないから。

② 赤ちゃんの小さな手は、まるでみじの葉っぱのようだ。

③ 春一番が、後ろからわたしの背中を強く押した。

- ア 反復
イ 直喩ちよくゆ
ウ 擬人法ぎじんぼう
エ 倒置
オ 対句
カ 体言止め

漢字の成り立ち

二 次の漢字の成り立ちを、後のア～エから選び、記号で答えなさい。

① 想

② 末

③ 門

④ 絶

- ア 象形
イ 指事
ウ 会意
エ 形声

文法―単語の分類

三 次の文の――線部の品詞を、後のア～カから選び、記号で答えなさい。

夜空^①を見上げると、^②星が^③美しくまたたいていた。

①

②

③

ア 動詞
エ 副詞

イ 名詞
オ 助詞

ウ 形容詞
カ 助動詞

漢字チャレンジコーナー

①～④は――線部の読み方を平仮名で、⑤～⑧は――線部の漢字を楷書で書きましょう。

① 彼は十年來の知己だ。

② 所望のものは何ですか。

③ 罪を償う。

④ 対句表現を使う。

⑤ びせいぶつを研究する。

⑥ 思わぬはじをかいた。

⑦ いっさいお断りだ。

⑧ ゆうわくに負けない。

<input type="text"/>							
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

う